

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
4 (2)	渡辺 恭子	精選古典 B 漢文編 (筑摩書房)
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 自由選択		常用国語便覧 (浜島書店) 漢文必携 (桐原書店) ほか

◆学習の目標

- ・ 古典としての漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、漢文に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。
- ・ 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重して、その理解力、表現力の向上を図る態度を育てる。

◆主な学習内容・方法

- (1) 漢文特有のリズムや響きに注意して滑らかに、かつ場面や状況・人物の心情を踏まえて音読する。
- (2) 文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。
- (3) 漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- (4) 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉える。
- (5) 漢文読んで、日本文化と中国文化の関係について考える。
- (6) 漢文を読んで、古代中国の人々の鋭敏な感受性や美意識、表現力の豊かさについて理解を深める。

◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕
- ・ 漢文を理解するにあたって、基本的な句法と漢語を理解する力を身に付ける。
 - ・ 助字・修辭法、句法などの基本的な文法事項を理解する。
 - ・ 優れた漢詩を鑑賞して、表現技法等を理解する。
- 〔応用〕
- ・ 作者や登場人物の生き方やものの見方、感じ方を理解する。
 - ・ 話の展開を読み取りながら、古代の中国の歴史物語の劇的な面白さを味わう。
 - ・ 登場人物の性格や生き方を通して、人間のあり方や運命について関心を深める。
- 〔評価の観点〕
- ・ 予習復習、授業中の取組み姿勢を重視する。

◆評価の方法

- ・ 年5回の定期考査のほかに、授業中の漢文句形等の確認テスト、質疑応答、提出物、出席状況等により、総合的に判断して評価する。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期 (26 時間)	2 学期 (28 時間)	3 学期 (16 時間)
------	-------	--------------	--------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

①教科書の本文（漢文）をノートに書き写す。②分からない語句や句法などは脚注や辞書で調べて書き込む。③漢文は書き下し文にする。④自分で全文を口語訳してみる。⑤授業に集中し、理解を深め、疑問点を解決する。⑥そのつど必要に応じて復習する。⑦必ず教科書・ノート・確認テスト・副教材等を読み直し、確認して、定期考査を受験する。
特に、課題提出・確認テスト等の日常学習は真摯に取り組み、古典の読解力を増進する。

◆授業計画

各クラスの生徒の実態に合わせ、教材の順序や時数は臨機応変に調整する。

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	学習到達目標
1	4	史話	8	・史話を読み、登場人物の生き方や人生観を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を理解する。	次の項目が達成できること。 ・文章を読み、歴史上の人物像を鮮明に思い描けること。 ・音読を繰り返すことにより、学習した文章を白文で読めること。 ・訓読と近体詩の詩形の基本知識を再確認する。 ・漢文重要句形（否定・疑問・反語・使役・比較・抑揚など）を再確認して、覚える。
	5	唐宋の詩	6	・唐宋の詩の様々な世界を味わう。	
	6	史記	8	・史記を読み、話の展開に即して、内容を正確に読み取る。	
	7	大学入試問題演習	4		
2	8	小説	4	・話の展開を正確に読み取りながら、古代中国の歴史物語を鑑賞する。	次の項目が達成できること。 ・長文の漢文に読み慣れ、読解し、鑑賞する能力を増進する。 ・基本的な知識を応用して口語訳し、主題や作者の意図などを読解する力を付ける。
	9	思想	6	・人間や政治をめぐる古代中国の様々な思想を読み取る。	
	10	人間論	6		
	11	政治論	6		
		入試問題演習	6	・大学入試過去問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力を付ける。	
	12				
3	1	共通テスト演習	8	・大学入試過去問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力を高める。	次の項目が達成できること。 ・基本的な知識を応用し、古典を口語訳するだけでなく、主題や作者の意図などを読解する力を増進する。
	2	入試問題演習	8		
	3				